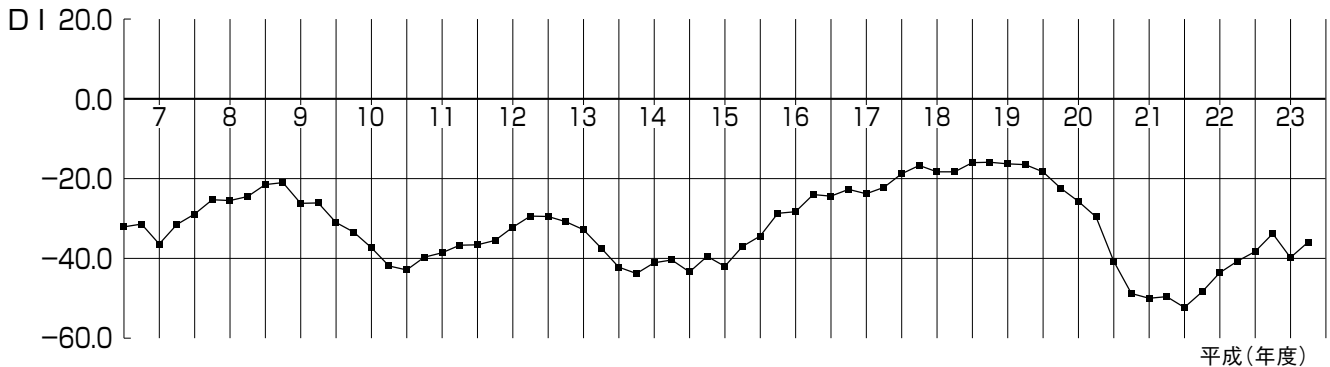


都内中小企業景況・6業種合計



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合)は-35.9(前期は-39.8)と前期に比べ3.9ポイント改善した。業種別に見ても、全業種とも改善している。

来期は、卸売業とサービス業が水面下ながら厳しさが和らぐと予想している。

	前期	今期	増減	今期予想	来期予想
製造業	-37.0	-33.7	3.3	-34.7	-32.8
卸売業	-38.6	-36.4	2.2	-34.8	-30.6
小売業	-47.3	-44.4	2.9	-44.7	-43.0
サービス業	-42.9	-37.2	5.7	-36.1	-32.6
建設業	-34.1	-25.9	8.2	-29.1	-24.3
不動産業	-27.4	-25.8	1.6	-26.2	-24.0
総合	-39.8	-35.9	3.9		

●製造業

業況は水面下ながら若干悪化幅が縮小した。売上額・受注残・収益はともに減少幅・減益幅がわずかに縮小した。価格面では、原材料価格は前期並の上昇が続き、販売価格は前期同様の低下基調で推移している。

業種別に見ると、「輸送用機械」は水面下ながら大幅に厳しさが和らぎ、「電気機械」「食料品」「皮革関連」「建設用金属」は大きく悪化幅が縮小した。「プラスチック」「化学工業」「繊維・衣服」「紙・紙加工品」はわずかに上向いた。

来期の業況は、今期並の厳しさを推移するものと予想している。売上額・受注残・収益はともに今期並の減少幅・減益幅で推移するものとみている。

●卸売業

前期でわずかに悪化傾向を強めた業況は、水面下ながらやや持ち直した。売上額・収益はともに幾分減少幅・減益幅が縮小した。価格面では、販売価格においては前期同様の低下基調が続き、仕入価格は前期と比べ上昇が弱まっている。

業種別では、「化学製品」「建築材料」「家具・建具」が水面下ながら大きく上向いている。一方、「機械器具」「鉱物・金属材料」は、幾分低調感を強めている。

来期は、売上額・収益ともに大きく持ち直し、業況は厳しさが和らぐと予想している。

●小売業

前期に大きく厳しさを増した業況は、わずかに改善している。売上額は大幅に持ち直し、収益はやや回復の兆しがある。価格面では、販売価格は前期同様の低下基調で推移し、仕入価格は前期並の上昇が続いている。

業種別では、「木材・建築材料」「家電・家庭用機械」「医薬品・化粧品」「カメラ、時計・眼鏡」が水面下ながら大きく上向いた。一方、前期に大きく持ち直した「ガソリンスタンド・燃料」は大幅に低調感を強めている。

来期は、売上額・収益はともに幾分減少幅・減益幅が縮小し、業況は今期並の厳しさが続く予想している。

●サービス業

前期、悪化幅が拡大した業況は、水面下ながら大きく改善した。売上額・収益ともに前期とは一転して大きく減少幅・減益幅が縮小した。価格面では、材料価格・料金価格ともに前期並の水準で推移した。

業種別に見ると、「情報サービス・調査・広告」「自動車整備・駐車場」は水面下ながら大きく悪化幅が縮小した。

来期の業況は、水面下ながらやや厳しさが和らぐものと予想している。売上額・収益については、減少幅・減益幅が大きく縮小するものとみている。

●建設業

業況は、大幅に厳しさが和らいだ。売上額・受注残・施工高・収益は、いずれも大きく減少幅・減益幅が縮小している。価格面では、請負価格は前期並の下降が続き、材料価格は大きく上昇幅が縮小した。

業種別に見ると、全ての業種で、水面下ながら悪化幅が縮小している。「総合工事」は若干の改善に留まったものの、「職別工事」「設備工事」は大きく持ち直した。

来期は、売上額は大きく持ち直し、受注残・施工高・収益はやや悪化幅が縮小するものとみている。業況は、厳しいながらも、わずかに上向くと予想している。

●不動産業

業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額・収益も前期同様の減少幅・減益幅で推移した。価格面では、仕入価格は若干良好感にかげりが見えた。販売価格は前期同様の低下基調で推移している。

業種別に見ると、「建売・土地売買」「不動産代理・仲介」ともに前期並の悪化幅で推移している。

来期の業況は、今期並の厳しさが続く予想している。売上額・収益は水面下ながら減少幅・減益幅が多少縮小するものとみている。